

みなさん、おはようございます。

まず初めに全国高校駅伝大会において本校は29位となり、2018年以来の20位台ということで素晴らしい成績でした。日ごろの成果を出し切り、本当に良かったと思います。

今日は、私の話のあとに修学旅行の報告があるということで、2年1組から配信しています。私自身、台湾は初めてでしたが、天候にも恵まれ、とても楽しい修学旅行でした。台湾の大きさは東北の約半分、おおよそ四国と同じくらいで、そこに東京の1.6倍くらいの約2,300万人が暮らしています。

研修の第一日目は日本とゆかりの深い台南まで足を運んだのですが、そこで使われている高速鉄道は日本製で、少し前の東海道新幹線と同じ型の車両になります。船で運んだのだそうです。

仙台空港から台湾までは飛行機で移動したわけですが、移動手段には実は大きな“安全性の差”があります。このフリップを見てください。

A) 徒歩 B) 自転車 C) オートバイ D) 自動車 E) 鉄道 F) 飛行機

これを「距離あたりの死亡リスク」が最も低い（安全）なものから順に並べてみてください。正解は——F>E>D>A>B>C

飛行機（最も安全）> 鉄道 > 自動車 > 徒歩 > 自転車 > オートバイ（最も危険）

世界のデータを比べると、最も安全なのは飛行機。次に鉄道、そして自動車。徒歩や自転車はその後で、最もリスクが高いのがオートバイです。理由は簡単で、衝突したときに身体を守るものがないからです。自転車や徒歩も同じです。

事故といえば、一昨日天童市でも高校生が乗るミニバイクが乗用車と衝突し、残念なことに亡くなりました。

自転車も事故にあれば同じようなものです。来年から、県内のすべての高校で自転車の許可条件としてヘルメット着用を求めるようになりました。さしあたり本校では、新入生に対して「ヘルメット所持」と「保険加入」を確認してからステッカーを配付するということを考えていますが、2・3年生については今後検討することにします。

交通事故は、必ずしも“運が悪い”から起きるのではありません。行動を変えることで、避けられる確率は上げられるのです。歩行中にスマホを見たり、イヤホンで周囲の音を遮ったりすれば、リスクを高める行為になります。自動車に乗るとき、後部座席でも必ずシートベルトを締めてますか？着用しないと死亡率は約5倍跳ね上がるそうです。

リスクの話をもう少し続けます。ワクチンについてです。

日本では、将来病気にかかるリスクを低くするため、様々なワクチンを接種します。ほとんどが小学校就学前に打つため、あまり記憶にはないかもしれません、10種類ほどあります。これらは「定期接種」として国が推奨し、公費で費用負担が行われるものです。ほかに、インフルエンザなどの“任意接種”があります。

子宮頸がんを予防するHPVワクチンというものがありますが、これは任意接種ではなく定期接種です。かつて日本では、一時中止された期間（2013～2021年）があり、その間に「任意接種」と表現されることがあったため、今も混乱が残っているようです。

ワクチンで癌そのものの発生を減らせるのは子宮頸がんだけとされていますが、SNSや動画サイトには、副作用だけを強調した不正確な内容が溢れています。刺激的な編集で不安をあおるものが多いのも事実です。

ここで大切なのは、医学的な情報はSNS動画ではなく、公的機関の情報で確認するということです。もちろん、ワクチンに副反応がゼロというものはありません。しかし、それ以上に接種によるメリットが大きいことは、膨大なデータから科学的に証明されています。

スマホがなかった時代は、学校や病院、本など、みんながほぼ同じ信頼できるところから情報を

得ていました。しかし今はネットが中心です。それでは、なぜSNSなどでは誤った情報が広まりやすいのでしょうか。

InstagramやTikTokでは、再生回数が収入に直結します。そのため、デマや過激な内容のほうが“お金になる”わけです。そして、人は何度も見た情報を「事実」だと思い込みやすいという心理もあります。

SNS やネット掲示板では、同じ考え方の人の投稿だけがアルゴリズムによって優先的に表示されます。これを「エコチェンバー」というのですが、いつのまにか自分と同じ意見を持つ人ばかりをフォローしたり、反対意見に触れたくないため、ブロックやミュートを繰り返したりします。そういううち、自分の見ている画面が正しい情報だという錯覚するわけです。

交通事故にせよ、病気にせよ、「知っているかどうか」「正しい情報で判断できるかどうか」の二つが、みなさん自身を守る大きな鍵になります。3年生は卒業しますが、来年は命の教育として「ガン教育」に力を入れようかと考えています。

結びになりますが、年が明けるとすぐに大学入学共通テストを迎えます。受験する人はのんびり休むことができない年末年始になりますが、4月には新しい場所で満開の桜を見ることになります。楽しいことをイメージしながら、最後の正念場を乗り越えてください。

それでは、よいお年をお迎えください。